

付録

学び続ける人材に関するアンケート調査票

※ 【パート*】という表記は当報告書内のみでの表示であり、調査画面上は表示していない。

※ 斜体字での表記は、当報告書内のみでの表示であり、調査画面上は表示していない。

【パート I】回答者のプロフィールに関する設問

Q1. 大学のことについてお伺いします。あなたの出身学部の系統について、次の中から当てはまるものを1つ選択してください。【単一回答】

※2つ以上の大学を卒業した場合、直近の大学について回答してください。

※大学院は除いてお答えください。

- ① 人文系（文・教育・外国語など）
- ② 社会科学系（法・経済・商など）
- ③ 理工系（理・工など）
- ④ 医薬系（医・歯・薬など）
- ⑤ 農学水産系（農・獣医・水産など）
- ⑥ その他（国際教養・総合政策・人間科学、その他、文理融合系の学部など）

Q2. 大学院のことについてお伺いします。

あなたの出身大学院（中退の場合を含む）の系統について、次の中から当てはまるものを1つ選択してください。【単一回答】

※2つ以上の大学院を修了した場合、直近の大学院について回答してください。

- ① 人文系（文・教育・外国語など）
- ② 社会科学系（法・経済・商など）
- ③ 理工系（理・工など）
- ④ 医薬系（医・歯・薬など）
- ⑤ 農学水産系（農・獣医・水産など）
- ⑥ その他（国際教養・総合政策・人間科学、その他、文理融合系の学部など）
- ⑦ 大学院には通学していない

Q3. あなたの現在のお勤め先の所在地を選んでください

- ① 首都圏（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県）
- ② 関西圏（京都府・大阪府・兵庫県）
- ③ 中部圏（愛知県・岐阜県・三重県）
- ④ その他【 】

Q4. あなたがこれまでに経験したことがある職種と、その中で最も経験年数が高い職種を選択してください。

- ① 専門・技術職（設計・開発・技術・医師・薬剤師・法律・会計専門職・教師など）

【パートⅡ】 学習習慣に関する設問

Q6. あなたの日頃の習慣として、以下の項目はどの程度当てはまりますか。近いものをそれぞれ選んで下さい。【単一回答】

	当てはまる	やや当てはまる	どちらともいえない	あまり当てはまらない	当てはまらない
(1) 将来仕事で必要になりそうな情報を集めたり、勉強したりする	①	②	③	④	⑤
(2) キャリアを振り返って、自分のスキルや能力を確認する	①	②	③	④	⑤
(3) 自分の強みや他社でも活かせる能力を確認する	①	②	③	④	⑤

【パートⅢ】就職後の経験に関する設問

- Q7. あなたは、これまでに会社を変ったこと（転社・転籍）がどの程度ありますか。【単一回答】
- ① ある・1回
 - ② ある・2回
 - ③ ある・3回
 - ④ ある・4回
 - ⑤ ある・5回以上
 - ⑥ ない
- Q8. あなたは、これまでに他社に出向した経験がありますか。ある場合は通算の出向期間もお答えください。【単一回答】
- ① ある・1年くらい
 - ② ある・2年くらい
 - ③ ある・3年くらい
 - ④ ある・4年くらい
 - ⑤ ある・5年以上
 - ⑥ ない
- Q9. あなたは、担当する仕事の分野が大幅に変わった経験がどの程度ありますか。例えば、技術から営業へ、製造から販売へなどの職能分野をまたがる変化を指します。【単一回答】
- ① ある・1回
 - ② ある・2回
 - ③ ある・3回
 - ④ ある・4回
 - ⑤ ある・5回以上
 - ⑥ ない
- Q10. あなたは、今の勤務先でこれまでに別の事業所への異動を何回くらいしたことがありますか。【単一回答】
- ① ある・1回
 - ② ある・2～3回
 - ③ ある・4～5回
 - ④ ある・6～9回
 - ⑤ ある・10回以上
 - ⑥ ない

Q11. あなたは、これまでに以下のような経験がありますか。当てはまる選択肢をすべてお答えください。

【複数回答】

- ① 仕事の難度が大幅に上がる
- ② 新規事業の立上げに携わる
- ③ 起業する
- ④ 副業や兼業を行う
- ⑤ 海外の事業所で半年以上勤務する
- ⑥ 事業縮小などで職場や仕事がなくなる
- ⑦ 所属会社が他社と合併・統合される
- ⑧ 会社から表彰される
- ⑨ 選抜型研修等のメンバーに選ばれる
- ⑩ 当てはまるものはない

Q12. あなたは、これまでに以下のような人と一緒に仕事をした経験がありますか。

※単に所属が同じだったということではなく、具体的に仕事をともにした人について、当てはまる選択肢をすべてお答えください。【複数回答】

- ① 出産・育児のために勤務時間に制約がある人
- ② 介護のために勤務時間に制約がある人
- ③ 療養のために勤務時間に制約がある人
- ④ 経験者採用（中途採用）の人
- ⑤ 他社の人（他社との共同プロジェクト等）
- ⑥ 他社の人（派遣社員・請負社員等）
- ⑦ 他社の人（関連会社からの出向者等）
- ⑧ 外国籍の人
- ⑨ 海外勤務・留学経験のある人
- ⑩ 障がいのある人
- ⑪ 女性の上司
- ⑫ 自分より年下の上司
- ⑬ 自分より年上の部下
- ⑭ 当てはまるものはない

【パートⅣ】就職前の時期も含む人生経験に関する設問① ～ ライフイベント ～

Q13. あなたがこれまでに経験したことがあるものを全てお選び下さい。【複数回答】

- ① 親族の死
- ② 自分の怪我・病気
- ③ 大きな事故・災害への遭遇
- ④ 近隣住民とのトラブル
- ⑤ 海外での生活
- ⑥ 外国人と生活を共にした経験
- ⑦ ボランティア活動への参加
- ⑧ 町内会・マンション管理組合等、地域コミュニティ活動への参画
- ⑨ PTA・父母会・子ども会
- ⑩ 結婚
- ⑪ 子の誕生
- ⑫ 身近な人の介護
- ⑬ 長期ローンの設定
- ⑭ 公職への立候補または就任
- ⑮ 当てはまるものはない

【パートV】就職前の時期も含む人生経験に関する設問② ～ 学生時代の経験 ～

Q14. 就学前から大学/大学院までの間に、入学試験を受験した経験は何回ありますか。【単一回答】

- ① 1回
- ② 2回
- ③ 3回
- ④ 4回
- ⑤ 5回以上
- ⑥ ない

Q15. 就学前から大学/大学院まで、国家試験や各種検定試験（TOEIC、英検、簿記、漢検など）を受験した経験は何回ありますか。【単一回答】

- ① 1回
- ② 2回
- ③ 3回
- ④ 4回
- ⑤ 5回以上
- ⑥ ない

Q16. あなたは転校の経験がどの程度ありますか。【単一回答】

- ① ある・1回
- ② ある・2回
- ③ ある・3回
- ④ ある・4回
- ⑤ ある・5回以上
- ⑥ ない

Q17. あなたの大学時代についてお聞きします。あなたは長期休暇以外の平日（食事、睡眠、移動などの生活の時間を除く）を100%とした時、(1)学業、(2)部活・サークル活動、(3)アルバイト、(4)その他（ボランティア・遊びなど）にそれぞれどれくらいの割合の時間を費やしましたか？**合計が100%になるように最も近いものをお答え下さい。**【数値入力】

	(1) 学業	(2) 部・サークル活動	(3) アルバイト	(4) その他（ボランティア・遊びなど）	全体
割合	%	%	%	%	100%

Q18. あなたの大学時代の経験についてお聞きします。あなたは以下の経験をしたことがありますか？
当てはまるものをすべてお答えください。【複数回答】

- ① 受験における挫折（浪人・第1志望以外への進学）
- ② 学生生活における挫折（留年・休学等）
- ③ 友人や先輩・後輩等との交流・対話を通じた知的刺激
- ④ 教授や学内外の研究者等との交流・対話を通じた知的刺激
- ⑤ 所属ゼミ・研究室における留学生との交流
- ⑥ 1か月以上の留学やホームステイ
- ⑦ 所属学部・学科外の授業聴講
- ⑧ 進級や卒業に必要な単位を超えた授業の履修
- ⑨ 卒論・修士論文など、論文の執筆経験
- ⑩ 所属ゼミ・研究室・学会等での発表・登壇経験
- ⑪ 継続的に、誰かに教えた経験（塾講師・家庭教師のアルバイトなど）
- ⑫ ボランティア活動
- ⑬ インターンシップ
- ⑭ 当てはまるものはない

【パートVI】 職場風土に関する設問

Q19. あなたがこれまで勤務してきた職場では、以下の項目がどの程度当てはまりますか。もっとも近いものをそれぞれ選んで下さい。【単一回答】

	当てはまる	やや当てはまる	どちらともいえない	あまり当てはまらない	当てはまらない
(1) 新しいことにチャレンジすることが歓迎される	①	②			
(2) 新しい発想やアイデアが常に求められる	①	②	③		⑤
(3) 若手や女性、外国籍の社員が活躍している	①	②	③	④	⑤
(4) 年功よりも能力や成果が重視される	①	②	③	④	⑤
(5) 自分で考え、判断することが求められる	①	②	③	④	⑤
(6) 自由闊達に意見を言うことが出来る	①	②	③	④	⑤
(7) 上司や先輩が丁寧にOJTを行ってくれる	①	②	③	④	⑤
(8) 多少失敗しても許容される雰囲気がある	①	②	③	④	⑤
(9) 新しい知識・技能・技術を常に学ぶ必要がある	①	②	③	④	⑤
(10) 中途採用者が数多く在籍している	①	②			
(11) 高い成果を上げれば年齢に関わりなく昇格・昇進できる	①	②	③	④	⑤
(12) 関心のある仕事に手を挙げれば、参画することが認められる	①	②	③	④	⑤
(13) 社員同士のコミュニケーションが活発である	①	②	③	④	⑤
(14) 研修や自己啓発メニューが充実している	①	②	③		
(15) 指示される前に率先して行動を起こすことが求められる	①	②	③	④	⑤

【パートⅦ】性格特性・行動特性に関する設問

Q20. あなたの性格について、以下の項目はどの程度当てはまりますか。
もっとも近いものをそれぞれ選んで下さい。【単一回答】

	当てはまる	やや当てはまる	どちらともいえない	あまり当てはまらない	当てはまらない
(1) 知らない人でもすぐに仲良くなれる	①	②	③	④	⑤
(2) よく考えてから行動する	①	②	③	④	⑤
(3) 小さなことでもくよくよする	①	②	③	④	⑤
(4) 大勢でわいわい騒ぐのが好きだ	①	②	③	④	⑤
(5) 計画的に行動する	①	②	③	④	⑤
(6) 誰に対してもやさしく接する	①	②	③	④	⑤
(7) 考えることが楽しい	①	②	③	④	⑤
(8) 他人に気配りをする	①	②	③	④	⑤
(9) 心配性だ	①	②	③	④	⑤
(10) 好奇心が強い	①	②	③	④	⑤

※ 項目(3)および(10)については、集計時に①～⑤の点数を反転して計算している。

Q21. 仕事をするうえで、あなたは普段どのような行動をとっていますか。

以下の項目について、もっとも近いものをそれぞれ選んで下さい。【単一回答】

	当てはまる	やや当てはまる	どちらともいえない	あまり当てはまらない	当てはまらない
(1) 新技術や新製品などに関心をもつ	①	②	③	④	⑤
(2) 経験のない仕事や苦手な仕事にできるだけ挑戦する	①	②	③	④	⑤
(3) 失敗を教訓として活かせるように努力する	①	②	③	④	⑤
(4) 他社や他業界の動きや社会の変化に関心をもつ	①	②	③	④	⑤
(5) 従来の方法を見直して、新しいやり方を考える	①	②	③	④	⑤
(6) どんな仕事でも自分なりの楽しみ方を見つける	①	②	③	④	⑤
(7) 他社や他業界の人と、幅広いネットワークをもつ	①	②	③	④	⑤
(8) 自分と異なる意見や考えを積極的に聞く	①	②	③	④	⑤
(9) 将来の仕事上の目標を持つ	①	②	③	④	⑤

【パートⅧ】日頃取り組んでいる「学び」に関する設問

- Q22. 就職してからのあなたのこれまでの「学び」を振り返ると、以下のどのタイプに最も近いですか？
「学び」とは、「自分の意志で、仕事に関わる知識や技術の向上のための取り組み（例えば、本を読む、詳しい人に話を聞く、自分で勉強をする、講義を受講する、など）」を指します。【単一回答】
- ① 就職してから今まで、継続して「学び」を実施している
 - ② 以前は「学び」に取り組んでいなかったが、ある時点から実施するようになった
 - ③ 以前は「学び」に取り組んでいる時期もあったが、ある時点から実施しなくなった
 - ④ 就職してから今まで、学ぶ時期も学ばない時期もあり、断続的に「学び」を実施している
 - ⑤ 就職してから今まで、「学び」は実施したことがない

- Q23. Q22 で①～④と回答した方にお伺いします。
「学び」を実施するようになったのは、どのようなきっかけや動機があったからですか。
該当するものをすべて選択してください。【複数回答】

- ① 同じ会社の社員が行っていたから
- ② 会社外で知り合った人が行っていたから
- ③ 当時の仕事に活かせると思ったから
- ④ 将来のキャリアに活かせると思ったから
- ⑤ 見識や人間としての幅を広げたいと思ったから
- ⑥ 常に成長を続けたいと思ったから
- ⑦ 学ぶための余暇・時間的なゆとりができたから
- ⑧ 学ぶための金銭的余裕ができたから
- ⑨ 「学び」のインセンティブ（給与やキャリアアップなどの待遇向上）ができたから
- ⑩ その他【 】

- Q24. Q23 で⑨と回答した方にお伺いします。具体的なインセンティブの内容をお書きください。
【自由記述】

Q25. Q22 で③と回答した方にお伺いします。

「学び」を実施しなくなったのは、どのようなきっかけや理由があったからですか。

該当するものをすべて選択してください。【複数回答】

- ① 上司や同僚など、同じ会社の社員に「学び」の習慣がなかったから
- ② 学んでも会社で評価されない、認められないと感じたから
- ③ 学ぶインセンティブ（給与やキャリアアップなどの待遇向上）が無くなったから
- ④ 学ぶための余暇・時間的なゆとりが無くなったから
- ⑤ 学ぶための金銭的余裕が無くなったから
- ⑥ 学ぶ目的が無くなったから
- ⑦ その他【 】

Q26. Q22 で⑤と回答した方にお伺いします。

以下のうちどのようなものがあれば、「学び」の取り組みを行いますか。【複数回答】

- ① 学ぶための余暇・時間的なゆとり
- ② 学ぶための金銭的余裕
- ③ 「学び」のインセンティブ（給与やキャリアアップなどの待遇向上）
- ④ その他【 】
- ⑤ 何があっても「学び」の取り組みを行わない

Q27. Q22 で①または②または④と回答した方にお伺いします。

あなたは一週間平均で何時間程度、「学び」に時間を割いていますか。【単一回答】

- ① 1時間未満
- ② 1時間以上3時間未満
- ③ 3時間以上5時間未満
- ④ 5時間以上10時間未満
- ⑤ 10時間以上15時間未満
- ⑥ 15時間以上20時間未満
- ⑦ 20時間以上

Q28. あなたが日頃から取り組んでいる学習方法について、以下の中から該当するものをすべて選択してください。【複数回答】

- ① 経済誌の新聞を読む
- ② 総合誌の新聞を読む
- ③ スポーツ誌の新聞を読む
- ④ 専門書を読む
- ⑤ ビジネス系の雑誌を読む
- ⑥ 娯楽系の雑誌を読む
- ⑦ インターネット上の記事等からの情報収集
- ⑧ Twitter、Instagram 等の SNS からの情報収集
- ⑨ ビジネススクールなど大学院への通学
- ⑩ 社外のセミナー・勉強会への参加
- ⑪ 社内研修への参加
- ⑫ その他
- ⑬ 上記のいずれにも取り組んでいない

Q29. Q28 で⑫と回答した方は、具体的な学習方法をお書きください。【自由記述】

Q30. Q22 で①～④と回答した方にお伺いします。

あなたは、就職してからこれまでに行った「学び」を通じて、仕事上の効果を感じましたか。

当てはまるものをすべて選択してください。【複数回答】

- ⑭ より質の高い仕事ができるようになった
- ⑮ より効率的に仕事ができるようになった
- ⑯ その他【
- ⑰ 効果は感じなかった

】

Q31. Q30 で①～③と回答した方にお伺いします。その結果、具体的な成果は得られましたか。

当てはまるものをすべて選択してください。【複数回答】

- ① 金銭的な待遇アップ（昇給など）
- ② キャリア上の待遇アップ（昇進・昇格など）
- ③ 仕事上のチャンス（自分の学んでいた分野でのビジネスチャンスを与えられたなど）
- ④ 自分が成長した実感
- ⑤ 周囲から認められた実感
- ⑥ その他【

】

【パートIX】 回答者の基本属性（プロフィール）に関する設問

Q32. あなたの性別について、次の中から当てはまるものを1つ選択してください。【単一回答】

- ① 男性
- ② 女性

Q33. あなたの年齢について、次の中から当てはまるものを1つ選択してください。【単一回答】

- ① 22～24 歳
- ② 25～29 歳
- ③ 30～34 歳
- ④ 35～39 歳
- ⑤ 40～44 歳
- ⑥ 45～49 歳
- ⑦ 50～54 歳
- ⑧ 55～59 歳

【当調査票の設計に際し、引用および参考とした先行研究】

当調査票の該当箇所	引用元
<ul style="list-style-type: none">● 「学習習慣（Q6）」に関する設問● 「職場経験（Q7～12）」に関する設問● 「コンピテンシー（Q20～21）」に関する設問	電機連合（2017）.『ライフキャリア』に関するアンケート
<ul style="list-style-type: none">● 「学び（Q.22）」の定義	リクルートワークス研究所（2018）. WORKS REPORT 2018 どうすれば人は学ぶのか — 「社会人の学び」を解析する —

WEB アンケートにおける、自由記述回答の一覧

※ 表中の表現については、原文ままとする。

【Q23】 学びを実施するようになったきっかけ・動機（「選択肢⑩；その他」の詳細）

学習習慣	学びのスタイル	【Q23】 学びを実施するようになった、その他のきっかけ・動機
学習習慣が とてもある	継続型	会社の方針で
	断続型	興味がわいたときに
	離脱型	新入職員研修で学ぶ仲間がいたから
学習習慣が ある	断続型	会社で必要だから
	離脱型	半強制だったから
学習習慣が ややある	断続型	必要にかられて
	離脱型	しなければならなかったから
学習習慣が ない	継続型	知識、技術等のスキルが求められるから
		必須だったから
	離脱型	転職したいから
		学ばなくてはいけない環境がたくさん準備されていたから

【Q24】 学びを実施するようになったきっかけ・動機

（「選択肢⑨；学びのインセンティブ（給与やキャリアアップなどの待遇向上）ができたから」の詳細①）

群分け	学びのスタイル	【Q24】 学びを実施するきっかけ・動機となった、 具体的なインセンティブの内容	
		概要	詳細
学習習慣が とてもある	離脱型	報奨金・手当	報奨金制度
学習習慣がある	継続型	報奨金・手当	報奨金がもらえる
		昇給	給与
	断続型	報奨金・手当	資格取得お祝い金の支給 資格取得時の取得一時金
		昇進・昇格	役職に就いた
	離脱型	昇給	資格取得による給与、ボーナス反映が、昔はあったから 昇給
報奨金・手当	資格取得者には報酬が支払われるようになった		
学習習慣が ややある	途中開始型	昇進・昇格	役職の上昇
	断続型	報奨金・手当	資格手当 特別手当 補助が支給された
		仕事上のチャンス	専門資格を取ると講師になれる
		離脱型	報奨金・手当

【Q24】 学びを実施するようになったきっかけ・動機

(「選択肢⑨；学びのインセンティブ(給与やキャリアアップなどの待遇向上)ができたから」の詳細②)

群分け	学びのスタイル	【Q24】 学びを実施するきっかけ・動機となった、 具体的なインセンティブの内容	
		概要	詳細
学習習慣がない	継続型	仕事上のチャンス	やりたい仕事ができるようになったから
		昇進・昇格	昇格
			言い方次第で、グレードの昇格
			資格取得がキャリアアップに必須だったから
			知識の習得(国家資格の取得を含む)によって、職位・賃金の上昇があった
		報奨金・手当	基本給の増加 手当がもらえる
			新設の試験やキャリアアップのための資格などに合格すると、資格手当が付く
			給与に反映され、プラスとなる
			資格手当がある
			出来高で給与の3割が決まる
	指定の資格取得時に、合格祝い金がもらえる		
	研修や試験費用の負担、合格することで報奨金が出る		
	その他	資格取得による奨励金制度	
		奨励金	
		報奨金(3年間)	
	途中開始型	昇進・昇格	報奨金がある
			転職して、大幅に給与が上がった
		昇給	資格の勉強
			昇給
		報奨金・手当	学んだ内容や結果が成果評価としてキャリアの指針になったため
			具体的な昇級があって、それが思ったより多かったから。学びが昇級の条件の大部分を占めるから
			昇給
			特定の資格を取得することで奨励金を貰えたり、人事査定の評価項目に入れることができるので査定がアップすることもできる
			賞与で自分の目標に対しての達成度、知識などが評価されるから
金融系資格で資格手当			
断続型	昇進・昇格	資格者への手当	
		会社から一定の金額以内の研修補助が出たため	
	報奨金・手当	昇格、ボーナスアップ	
		昇進昇格の条件に設定された	
		ボーナスに営業奨励金が付くようになった。	
		資格をとると会社から資格手当が支給される	
		資格の取得による給与UP	
		資格取得者は資格手当がつく	
仕事上のチャンス	資格手当		
	資格手当が支給されるため、資格を取れば昇給できた		
離脱型	昇進・昇格	一時金や手当など	
		簿記や英検、IT資格取得で一時金が支給される。人事考課もアップする噂がある	
	報奨金・手当	資格取得にて奨励金	
		資格を取って転職した	
		管理職の必須条件の資格取得	
		資格ごとに月額給与がプラスされる	
報奨金・手当	特定の資格取得により給与が上がる制度があった		
	資格手当の支給		
	資格手当の支給		
	宅建手当		
報奨金・手当	資格取得で褒賞一時金が出る		
	資格補助		

【Q25】 学びを実施しなくなったきっかけ・理由（「選択肢⑦；その他」の詳細）

群分け	学びのスタイル	【Q25】 学びを実施しなくなった、その他のきっかけ・理由
学習習慣が とてもある	離脱型	面倒になった
学習習慣が ややある	離脱型	インストラクターの職種から営業系の職種に変わったため
学習習慣がない	離脱型	学びたくなかったから。学びに時間がとられて、じぶんの時間がなくなっていったから

【Q26】 どのようなものがあれば学びに取り組むか（「選択肢④；その他」の詳細）【学びゼロ型のみ】

群分け	学びのスタイル	【Q26】 学びゼロ型は、どのようなものがあれば学びに取り組むか？
学習習慣が ややある	学びゼロ型	精神的なゆとり
学習習慣がない	学びゼロ型	会社側から学ぶに至るまでのことを任されていないため学びを行っていない

【Q29】 日頃から取り組んでいる学習方法（「選択肢⑫；その他」の詳細①）

群分け	学びのスタイル	【Q29】 日頃から取り組んでいる学習方法（その他の詳細）	
		概要	詳細
学習習慣が とてもある	断続型	英語	英語学習アプリ
		教えを乞う	先輩、同僚の話を聞き、良いものはまねする
	離脱型	資格・検定	テキストを使って勉強する
学習習慣がある	断続型	資格・検定	資格取得のための勉強をする
		英語	英会話学校
		その他	スマホアプリで学ぶ
	離脱型	資格・検定	資格取得の勉強
		その他	論文や学会
学習習慣が ややある	継続型	資格・検定	教員採用試験に向けての勉強
		英語	英語学習
		その他	手順書を見る
	学びゼロ型	その他	業界新聞を読む

【Q29】日頃から取り組んでいる学習方法（「選択肢⑫；その他」の詳細②）

群分け	学びのスタイル	【Q29】日頃から取り組んでいる学習方法（その他の詳細）	
		概要	詳細
学習習慣がない	継続型	資格・検定	TOEIC、簿記の勉強
			資格の本を活用する
			資格試験を継続して受ける
			資格専門学校に行く
			インターネット上にある資格の過去問の勉強
			参考書などを買って勉強する、能力試験を受ける
		スクーリング	大学で学ぶ 通信教育を利用して、学資を取得したり、国家資格を取得したことがある
	英語	英語のニュースを聞く	
		英語学習	
		英語学習	
	社外ネットワーク	社外の人との交流 月一回、他の企業の視察を行う	
	教えを乞う	仕事上でわからないことがあれば調べて自分のものにする。営業で使える情報を積極的に取り込む	
		師匠から習う	
	その他	放送媒体の視聴	
		論文を書くために必要な知識、技術を磨く	
		新規デバイスや買いあし津環境の構築、実践	
		特に決まっていない	
	途中開始型	資格・検定	参考書
			資格等の学習
			通信教育や資格試験の勉強、語学など
		英語	個人的にキャリアアップ教室、英会話教室等に通う
その他		TV講座の視聴	
		関連する情報をインターネットや雑誌記事などから検索して関連するオンラインセミナーの受講や論文を熟読する	
	他分野の書物を読む。特に芸術関連の経験を重ねる		
断続型	資格・検定	資格試験	
		資格試験などの自学	
		資格取得の為の自学自習	
	スクーリング	オンラインで講座を取る	
		通信教育	
	英語	ラジオ英会話	
		街中で英語で声かけや道案内を実際に積極的に行う実践英会話	
	社外ネットワーク	スカイプを利用して情報交換を行う	
		知人との情報交換	
		展示会への参加による他企業の方との交流	
	その他	ラジオ講座	
		業界紙、業界雑誌の購読	
		自社の株価を見る	
		文献を読む	

【Q30】 学びを通じて感じた仕事上の効果（「選択肢③；その他」の詳細）

群分け	学びのスタイル	【Q30】 学びを通じて感じた仕事上の効果（その他の詳細）
学習習慣が とてもある	断続型	素人さがなくなっていた
学習習慣がない	継続型	仕事に対するモチベーションが高まった
		視野が広がった
		新しい方法を、様々なアプローチで比較できるようになった
	途中開始型	異なる視点からも物事を考えられるようになった 仕事の幅が広がった
	離脱型	販売資格を得られた

【Q31】 学びを通じて得られた具体的な成果（「選択肢⑥；その他」の詳細）

群分け	学びのスタイル	【Q31】 学びを通じて得られた具体的な成果（その他の詳細）
学習習慣が とてもある	断続型	怒られたり、反対されることが少なくなった
学習習慣が ややある	離脱型	お客様に満足頂けるレベルでの指導が提供できるようになった
学習習慣がない	継続型	モチベーションの維持
	継続型	顧客からの信頼アップ、受注増加
	途中開始型	トラブルの早期解決や構築作業の時間短縮ができ、仕事が楽に完結した
	離脱型	時間の使い方

平成 30 年度調査研究事業

「学び」を支える“学習習慣”のある人材の確保・育成
に向けた人事戦略に関する
調査研究報告書

平成 31 年 3 月

一般財団法人 企業活力研究所

〒105-0003 東京都港区西新橋 1-13-1

TEL 03-3503-7671 Fax 03-3502-3740

<http://www.bpfj.jp/>